

サステナビリティ

ステークホルダーとの対話を繰り返すことにより、CSV経営のさらなる推進を目指します。

サステナビリティ課題への対応

当社がグループビジョンに掲げるCSV経営は、事業活動そのものが社会貢献になる活動を目指しています。そのためには、収益向上とサステナビリティ向上は車の両輪のように推進することが必要と考えています。当社では、代表取締役社長が議長を務め、全執行役員を構成員とした「PDCA会議」の中で、毎月マテリアリティ施策の進捗やサステナビリティに係る重要課題の議論を行います。また、新設した「サステナビリティ委員会」においてサステナビリティ課題について審議を行い、取締役会への報告等を行います。

当社の考えるPDCAマネジメント

当社では、経営レベルから現場レベルまで、事業活動のモニタリング、見直しをPDCAサイクルに基づいて運用しています。

経営目標やマテリアリティ、サステナビリティに関わる重要課題について、PDCA会議において毎月モニタリングを継続し、速やかな意思決定が現場レベルにおけるアクションへつながっています。各種会議体を含めた現場レベルでも業務のPDCAサイクルを

しっかりと回し、重要な経営指標や諸課題を適時適切に報告・共有しています。

また、環境目標に関しても事業年度計画に反映し、定例会議の中で重要課題や実施状況をレビュー、PDCAを基礎としたサイクルの中で継続的に取り組んでいます。

ステークホルダーとの対話

当社は、さまざまなステークホルダーとの対話を重視しており、各ステークホルダーと日常的に対話の機会を設けています。これらの対話から得られたご期待やご意見、ご要望に耳を傾け、事業や経営に反映していくことで、企業価値の向上や競争力の強化に努めています。

主な対話方法

■お客様・お取引先	セミナー・勉強会の開催
■従業員	エンゲージメントヒアリング、従業員意識調査、従業員代表委員会等
■株主・投資家	株主総会・会社説明会の実施、アンケート等
■地域社会	みなと環境にやさしい事業者会議 (mecc) や各地域のイベントへの参加、地域社会貢献等
■環境	21世紀金融行動原則に運営委員として参加等
■国際社会	グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンの活動

